

ブルンジ月報（2026年8月）

※以下は、ブルンジ主要メディア（RTNB、IWACU等）の記事取りまとめ。

1. 政治・外交

今月のンダイシミエ大統領の主要な動きは以下のとおり。

- 7日、中部アフリカ諸国経済共同体（CEEAC）の代表団による表敬を接遇。同共同体の活動状況や、昨年マラボで開催された首脳会議における決定事項の実施状況等について説明を受け、加盟国の拠出金等について協議。
- 11日、ブルキナファソのカラモコ・ジャン＝マリー・トラオレ外相と会談。両国間の協力関係及び第1回合同協力委員会の開催。両国間の二国間協力の強化及び第1回合同協力委員会を通じた農業、保健、教育、青年、治安等の分野における協力具体化について協議。
- 12日、「青年・平和・安全保障に関する第5回大陸対話」の閉会式及び「インクレブツィ・デー（Inkerebutsi Day:若者の起業・イノベーションを称える行事）」に出席。
- 14日、米国の鉱業・エネルギー分野の専門家代表団による表敬を接遇。プレモン在ブルンジ米臨代らが同行し、同分野における米国の専門家の活動状況及び今後の協力について意見交換。
- 20日、コンゴ（民）を訪問し、チセケディ大統領と会談。コンゴ（民）東部を中心とする地域情勢等について意見交換したほか、同国の高等戦略・防衛研究機関の創設10周年記念行事等に出席。
- 24日、カンタベリー大主教サラ・マラー氏による表敬を接遇。教育及び保健を含む開発分野における聖公会との協力等について意見交換。
- 26日、国連コンゴ民主共和国安定化ミッション（MONUSCO）の新代表による表敬を接遇。コンゴ（民）東部を中心とする大湖地域の治安情勢及び和平プロセスについて協議。

内政に関し、

- 3日、国民議会が8月通常会期を開始。
- 14日、会計検査院は、2025～2026年度の年次監査報告書を公表。監査対象となった国家機関及び公的機関について、適切に運営されている機関がある一方、法令遵守や業務運営等に問題を抱える機関も確認され、改善に向けた勧告が行われた。
- 18日、違法な武器取引をめぐる司法手続が開始。検察当局は文書の偽造・改ざん等を利用した違法な武器取引に関与した疑いのある関係者について捜査を開始。
- 21日、ブジュンブラ中心部において、「ル・パリジャン」及び「ンダイザンバ」の2つの商業施設が火災により焼失。多数の商店が被害を受けた。
- 25日、ブジュンブラ南西部のキニンド市場でも火災が発生。21日の商業施設の火災に続く火災となり、市場や商業施設で相次ぐ火災が社会的な懸念事項となった。
- 27日、相次ぐ市場・商業施設の火災を受け、国家安全保障会議が開催。火災原因の究明及び再発防止について協議。

外交に関し、

- 14日、ビジマナ外相は、在ブルンジのアフリカ各国大使及び国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）関係者とともに、ブフムザ州ブスンマのコンゴ（民）難民居住地を訪問。
- 20日、同外相は、アルプ・イシュクル在ブルンジ・トルコ大使と会談。
- 25日、同外相は、英国大使館のスチュワート臨代及びマインリーフ政治顧問と会談。
- 26日、同外相は、インフラ担当大臣及び在ブルンジ中国大使とともに、ギテガに建設予定の新たな外務省庁舎の建設予定地を視察。
- 30日、同外相は、アンゴラ・ルアンダで開催された第21回アフリカ連合（AU）臨時首脳会議に出席。

2. 経済

- 5日、ブルンジ政府は、在外ブルンジ人による投資を国家の経済・社会開発の重要な原動力と位置付け、国内への更なる投資を呼び掛けた。
- 14日、鉱物資源、エネルギー、産業、貿易及び観光を所管する省庁の幹部らとンダイシミエ大統領が会合を開催。これらの戦略的分野の生産性及び国家歳入への貢献を拡大する必要性を強調。
- 17日、2026～2027年度国家予算の執行・報告に関する州別ワークショップを開始。地方分権の推進に向け、州及びコミューンの財政基盤を強化するための予算配分を進める方針が確認された。
- 23日、ブジュンブラ港の改修事業に関連する国道9号線（RN9）の整備について、工期が当初の予定を超過していることが明らかとなった。
- 25日、ブジュンブラにおいて第3回公共調達週間が開幕。公共調達制度の近代化及び手続の電子化、透明性の向上等について協議が行われた。